

## 新規受託項目のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、弊社では皆様のご要望にお応えし、また医療の進歩に寄与するべく絶えず検査領域の拡大に努めておりますが、此の度、下記項目の検査受託を開始することになりました。

取り急ぎご案内致しますので、宜しくご利用の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 新規受託項目

[ 7006 ] 副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)

### 受託開始日

平成16年6月21日(月)

## 副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)

副甲状腺ホルモン(PTH)は84個のアミノ酸より成るペプチドホルモンです。副甲状腺からは主に完全なPTH分子(1-84PTH)として分泌されますが、血中には1-84PTHと同時に末梢組織で代謝を受けたさまざまなフラグメント(分解産物)が存在します。ここで実際に生物活性を有するのはN末端側(1-34)のアミノ酸配列を保持したPTH分子に限られることから、今日、生体におけるPTH作用状態の把握には完全なPTH分子のみを検出する方法として“intact-PTHアッセイ”が主流を占めるようになりました。

近年、腎不全患者ではN末端側6個のアミノ酸を欠く7-84PTHが無視し得ない量的比率で血中に存在すること、かつ7-84PTHが単に不活性フラグメントというに留まらず、1-84PTHの生物活性を阻害することが明らかになりました。従来いわゆる“intact-PTHアッセイ”の場合、7-84PTHをも交差測定していると考えられ、見掛け上のintact-PTH濃度と(7-84PTHの拮抗作用を相殺した後での)正味の生物活性が乖離する可能性が指摘されています。例えば、7-84PTHの存在に伴う見掛け上のPTH高値によりビタミンD投与過剰となれば、無形成骨に至る危険性を無視できません。実際、intact-PTH値を100%とするとき、そこに占める7-84PTHの割合が40～60%に達する症例の報告もあり、真の意味でのintact-PTH(1-84PTH)を特異的に測定することは極めて重要です。

“Whole PTHアッセイ”は7-84PTHと交差反応せず、1-84PTHのみを選択的に測定します。より厳密に副甲状腺機能を評価する上に、whole PTHアッセイが有用な手段となります。

### 検査要項

項目コード	7006
検査項目名	副甲状腺ホルモン whole (whole PTH)
検体量	EDTA血漿 0.5mL
保存方法	凍結
検査方法	IRMA法
基準値	9.0～39.0 pg/mL
所要日数	3～6日
検査実施料	230点(「D008」内分泌学的検査の「18」)
検査判断料	134点(生化学的検査( )判断料)
定価	3,650円
備考	必ず血漿分離の上ご提出下さい。 血清も検査可。 PTHは、採血後直ちに冷却下で血漿を分離する方が不活性化を防ぎます。 実施料は「副甲状腺ホルモン(PTH)精密測定」として一連の算定となります。

### 主な対象疾患

腎性骨異栄養症  
線維性骨炎  
無形成骨

### 関連検査項目

副甲状腺ホルモン intact (PTH intact)

[参考] 腎性骨異栄養症における無形成骨診断のカットオフ値として“90pg/mL以下”が提案されています。

### 検査法参考文献

山下弘幸, 他: 医学と薬学 48: 243-247, 2002.

徳本明秀, 中岡明久: 腎と骨代謝 17: 79-86, 2004.